



大規模災害に 備えて

情報を活用して大雨や台風への備えを

初夏から秋にかけては、台風や前線の影響で、大雨、洪水、暴風、高潮などによる自然災害が発生しやすい季節です。皆さんが早めの避難などの防災行動をとることができるよう、さまざまな防災気象情報が発表されます。

気象情報・防災情報

早期注意情報や気象情報、注意報、警報などの防災気象情報は、段階的に発表されます。「避難指示や警報などが発表されない」は「災害が発生しない」ではありません。警報などが発表されないからといって安心せず、命を守るために早めの避難、最新情報の収集に努めましょう。

町から高齢者等避難や避難指示が発令された場合には、速やかに避難行動をとってください。

キキクル

気象庁では、雨による災害の危険度を地図上にリアルタイムに表示する「キキクル」を提供しています。土砂災害・浸水害・洪水害の3種類があり、危険度を5段階の色分けで表示します。

キキクル 気象庁



もし大規模災害が発生したら・・・災害ごみはどうする？

大規模な災害が発生した場合は、**3日以内**を目処に、町から災害ごみ（災害による片付けごみ）の排出方法などについてお知らせする予定です。災害時のごみの出し方について、日頃から考えておきましょう。

災害ごみについて知る
大規模な災害が発生すると、大量の災害ごみが発生します。



適切に分類する
町からお知らせする内容を確認し、分別して出してください。



正しく分別がされていないと、ごみの処理に多くの時間や費用がかかります。



◀災害ごみについて詳しくは町ホームページをご確認ください。

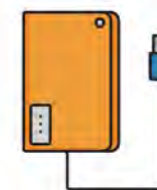
問 総務課 生活安全係 ☎0965-52-7111 (防災に関すること)
町民課 戸籍環境係 ☎0965-52-5851 (災害ごみに関すること)



暮らしに身近なものになってきたICT・デジタル技術について、さまざまな情報を発信する連載企画「#デジ活」。今回のテーマは「防災」です。台風や大雨などによる災害に備え、緊急時の重要な通信手段となるデジタル機器に関する備えや、事前にできる対策の一部をご紹介します。

スマホの充電手段を確保しよう

緊急事態でもスマートフォンが使えるよう、防災グッズとして充電器や乾電池を準備しておきましょう。最近では、外出先で充電できる「モバイルバッテリー」や、より多くの電力を蓄えられる「ポータブル電源」も普及しています。ご家庭の状況に合わせ、災害時に適した電源手段を考えてみましょう。



氷川町公式 LINE を活用しよう

災害時には地域の防災情報をいち早く確認し、迅速な行動に繋げることが大切です。氷川町では今年3月に公式LINEアカウントをリニューアルし、防災情報に素早くアクセスできるようになっています。暮らしや行政手続き、町の到着情報なども確認できますので、ぜひご活用ください。



写真のデジタル保存で、思い出も防災を

災害時に起こり得るのが、ご家庭にある家財などの被災です。大切な思い出の写真をまとめたアルバムが被災してしまったら、そのショックは計り知れないでしょう。クラウドサービスなどを利用し、事前に写真データを保存しておけば、いざという時も思い出の写真を守ることができます。



用語解説

クラウドサービス

パソコンやスマートフォンでインターネットに接続することで、さまざまなサービスを受けられるもの。写真や動画を保存できるサービスを使えば、紛失防止や家族との共有に活用できます。



▲ご意見はこちら

皆さんの「困りごと」教えてください

「デジタルが苦手」「これってデジタルで解決できないの?」「日常でこんな悩みがある」など、皆さんが暮らしの中で感じている困りごとをお聞かせください。



問 総務課 行政係 ☎0965-52-7111